

第3回 仙台短編文学賞

届け、海へ。
届け、未来へ。

選考委員

柳美里

締切

2019年11月15日

発表

2020年3月

原稿募集

主催
協力
後援

「仙台短編文学賞」実行委員会(荒蝦夷／河北新報社／プレスアート)

仙台市／仙台文学館[(公財)仙台市市民文化事業団]／集英社「小説すばる」編集部

東北学院大学／宮城県書店商業組合／エフエム仙台

東北大学災害科学国際研究所／関西学院大学災害復興制度研究所

原稿送付先・お問合せ／〒984-8516 仙台市若林区土樋103番地
(株)プレスアート内「仙台短編文学賞」実行委員会事務局 TEL. 022-266-0912

仙台短編文学賞

検索

原稿募集

締切

2019年11月15日

第3回 仙台短編文学賞

主催：「仙台短編文学賞」実行委員会（荒蝦夷／河北新報社／プレスアート）

協力：仙台市／仙台文学館〔（公財）仙台市市民文化事業団〕／集英社「小説すばる」

編集部／東北学院大学／宮城県書店商業組合／エフエム仙台

後援：東北大学災害科学国際研究所／関西学院大学災害復興制度研究所

第3回仙台短編文学賞の選考委員は柳美里さんです。

《選考にあたって》

仙台短編文学賞の募集要項の中の「仙台・宮城・東北となんらかの関連がある作品」という漠然とした言葉にぐっと来しました。

その場所に居る、その場所を訪れて去っていく、行ったことの無いその場所を想う、その場所から来た人との出会いあるいは別れ、あるいは、もっとささやかな、その場所の食べ物や、その場所から届いた絵葉書や——、つまり、「なんらかの関係」があれば、なんでもいい、ということなのです。

わたしが期待しているのは、「なんらかの関係」という言葉に宿る創意です。

地名を隆起させることもあり得るだろうし、地名を陥没させることもあり得るだろう。

「なんらかの関係」を、あなたが、これから書く小説にとっての制約としてではなく、物語を展開する機縁として受け取って欲しい。

東北は、広く、深いです。



【ゆう・みり】小説家・劇作家。1968年、茨城県生まれ。『魚の祭』（角川文庫／岸田國士戯曲賞）、『フルハウス』（文春文庫／泉鏡花文学賞、野間文芸新人賞）、『家族シネマ』（講談社文庫／芥川賞）、『ゴールドラッシュ』（新潮文庫／木山捷平文学賞）など受賞多数。ほか『命』（新潮文庫）、『J R 上野駅公園口』と『ねこのうち』（共に河出文庫）、『町の形見』と『沈黙の作法』（共に河出書房新社）など。福島県南相馬市在住。

募集要綱

- 対象 ジャンル不問。日本語で書かれた自作未発表の小説に限り、仙台・宮城・東北となんらかの関連がある作品。
- 資格 応募原稿は完全な未発表作品に限り、小説講座・文章教室・同人誌（SNSサークルも含む）などにテキストとして提出、あるいは公開した作品の投稿については選考の対象外とします。同じ作品による他の文学賞への二重応募は認めません。応募は1人1作品に限り、2作品応募した場合はどちらも選考対象外となります。
- 枚数 400字詰原稿用紙で25～35枚程度とします。
 - ・ワープロ・パソコン原稿の場合／必ず1枚あたり40字×30行で作成し、A4判のマス目のない紙を横置きに使用し、縦書きで片面印刷してください（原稿用紙や感熱紙は使用しないでください）。
 - ・手書きの場合／必ずA4サイズの400字詰原稿用紙を使用してください。
- 要領 原稿（本文）は必ず通し番号（ページ数）を入れて、右肩綴じにしてください（クリップまたは紐で綴じてください。ホッチキス留めは不可とします）。
 - ①1枚目には題名、筆名、原稿用紙換算枚数のみを記入してください（題名、筆名にはふりがなをつけてください）。
 - ②2枚目以降より本文をはじめてください（1枚目や最後の1枚は枚数にカウントされません）。
 - ③最後の1枚に、題名・筆名（本名）・郵便番号・住所・生年月日（年齢）・電話番号・Eメールアドレスと略歴（学歴・職歴・文筆歴）などを記入してください。※メールで送る場合はファイルをPDF化し、添付ファイルにてお送りください。
- 賞
 - ・大賞 正賞＝『河北新報（掲載日未定）』『Kappo 仙台闊歩5月号』『小説すばる5月号』に掲載 副賞＝金30万円
 - ・仙台市長賞 正賞＝『震災学』掲載 副賞＝金5万円
 - ・河北新報社賞 正賞＝『河北新報』掲載 副賞＝金5万円
 - ・プレスアート賞 正賞＝『Kappo 仙台闊歩』掲載 副賞＝金5万円
 - ・東北学院大学賞（学生対象） 正賞＝『震災学』掲載 副賞＝金5万円
- 締切 2019年11月15日（金）当日消印有効。メールの場合は23時59分まで受け付け（16日0時以降に到着したものは対象外となります）。
- 宛先 応募は郵送またはメールで。
〒984-8516 仙台市若林区土樋103番地 （株）プレスアート内「仙台短編文学賞」実行委員会事務局
sendai.tanpen.bungakusho@gmail.com
- 発表 受賞作品は2020年3月に発表予定です。選考結果は公式ホームページならびに河北新報紙上で発表します。なお受賞者には直接通知いたします。

※応募作品は返却いたしませんので、あらかじめコピーを取ったうえで送りください。 ※応募後の内容変更は受け付けません。 ※選考に関するお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。 ※最終候補作はホームページ上で発表します。 ※応募された方の個人情報（プレスアートの個人情報保護方針に則り、厳重に管理し、本賞以外の目的に利用することはありません。 ※受賞作品の複製権（出版権）、公衆送信権、映像化権等の利用権（二次利用含む）は仙台短編文学賞実行委員会に帰属します。

詳しくはホームページをご覧ください ▶▶▶ <https://sendaitanpenbungak.wixsite.com/award>

写真裏面／宮城県仙台市若林区荒浜にて、2019年6月

写真／2011年4月に誕生した工藤大和くん（右）と妹の結愛ちゃん。宮城県南三陸町。2016年5月5日付「河北新報」掲載（撮影／渡辺龍）